

# 刑罰と社会秩序



東郷 潤

恐怖の動機づけは宗教に限らず、ありとあらゆる分野に存在しますね。





木登り、ダメ！  
死んだらどうするの!?

仕返しが怖いから  
我慢しよう



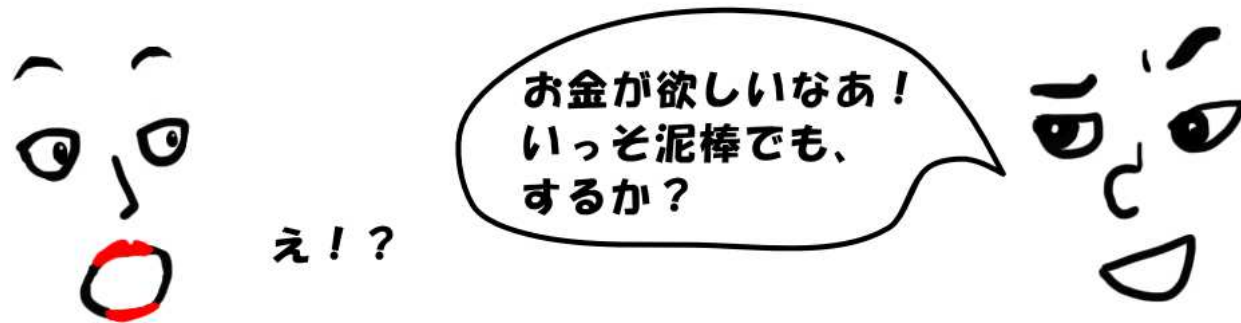
薬を飲まないと、  
血管がつまりますよ



ほーか



刑罰もまた、恐怖の動機づけを利用したものです。刑罰が生む恐怖で、犯罪が抑止され社会の秩序が保たれます。



むろん刑罰を科すためには、それなりの手続きが必要ですが、動機付けとしては他の恐怖と同じく、簡単に即効性があるのです。



刑罰の恐怖でも重要なのは予想です。犯罪者全員を罰することが出来なくても罰の予想があれば、それだけで恐怖は生まれます。



でも、可能性  
あるわよ

みんながみんな捕まる  
わけじゃないだろ



高い検挙率は、刑罰への予想を高めます。つまり恐怖はより一層、生まれやすくなるでしょう。



警察の検挙率は、とても高いのよ。  
髪の毛一本落としただけで、  
DNAで捕まるって

怖っ！ 泥棒なんて出来ないね



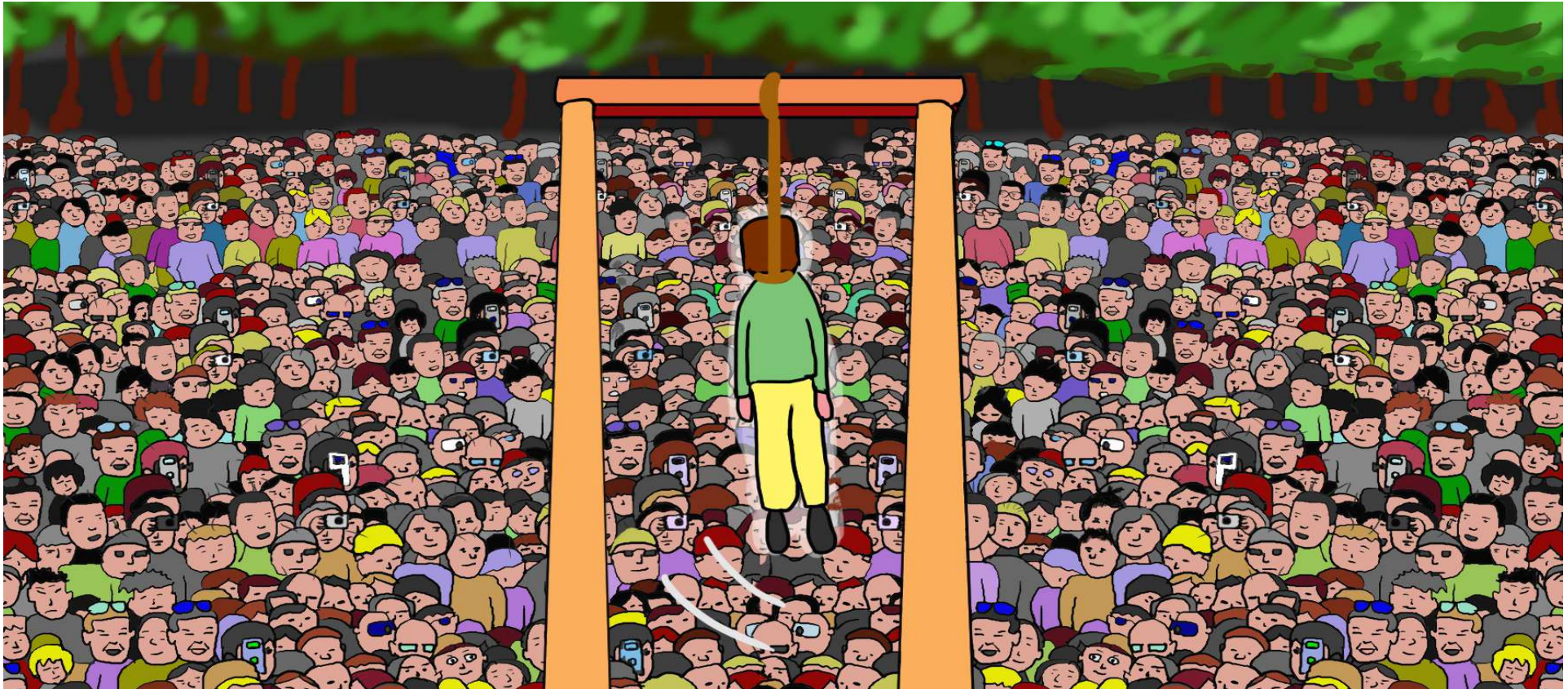
そしてより残酷な刑罰は、より強い恐怖を生みだします。例えば・・・



厳罰化を進めれば進めるほど恐怖は大きくなり、刑罰の強制力も高まります。



国によって刑罰は一般公開されることもあります。それは犯罪予備軍の人々にとって、より身近な恐怖として感じられるでしょう。



厳罰とその公開は、もし検挙率が低くてもそれを補い、大きな恐怖を生み出すことができます。

**刑罰が生む恐怖で、  
お金も時間も掛けずに簡単に、  
犯罪を抑止し社会秩序を守ることが出来ます。**

それが人類数千年の歴史です。





## あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。  
また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2016